

美瑛町立
美瑛東小学校
学校だより

ま と

8・9月の生活目標

- いつでも、どこでも、だれにでも
あいさつをしよう
- 友達の良いところを見つけよう

【教育目標】 ☆夢をもち、未来を切り拓く自立した児童の育成 No. 4 令和4年7月22日

充実した夏休みを！

校長 倉橋 昭彦

今年も暑い日が続いています。これからの夏は、こまめな水分補給による熱中症対策、そしてコロナなどの感染症対策の両方が必要なのかもしれませんが。

先日、4年生以上の子どもたちを対象にした「SNS安全教室」が行われました。旭川東警察署生活安全課の吉本さんの話を聞いたあと、私からは以下のような話をしました。

<SNSを介したトラブル(いじめや性に関する事など)の加害者や被害者にならないためにも>

- ・SNSであってもなくても人の嫌がることをしてはいけないこと
 - ・一人の人間として、大人であろうと子どもであろうとだめなことはだめだということ
 - ・相手の気持ちを考える想像力(こんなことを書いたら相手はどう思うかな?...)を養っていくこと
- <更に、トラブルに巻き込まれないように>
- ・自分を守るのは自分であり、自分の意思や考え方、使い方がすごく重要であること
 - ・困ったり、どうしたらいいのかわからなかったりしたら周囲の大人に伝えること

安全教室が終わった後、吉本さんと話をしましたが、「夏休みに入るこの時期の学校からの依頼が増えていく」、そして「トラブルとしてわかっているのは氷山の一角。このトラブルが発覚したときは、本当に大変なことになっていることが多い。そのことを(子どもも大人も)本当に理解して欲しい。」という話をしていました。本校では、2年生以上の子どもたちを対象に夏休み中の端末持ち帰りを実施します。ご家庭でも改めてルールの確認をよろしくお願い致します。

6月30日、7月1日と修学旅行に行ってきました。天候にも恵まれ、予定の行程を終えることができました。この状況での旅行でしたが、6年生22人の子どもたちの笑顔や頑張りにかくさん触れた二日間でした。この旅行を支えていただいたたくさんの方々に、感謝の気持ちでいっぱいです。

また、先日の参観、そして懇談への参加、更には学校評価アンケートの協力など、本当に感謝しています。

コロナの感染拡大が全国的にも広がりを見せ、第7波という言葉も耳にするようになりましたが、今年度もフルサイズの夏休みです。子どもたちは健康・安全(熱中症やコロナ感染はもちろん、水難事故や交通事故)に十分留意し、家族と共に充実した時間を過ごしてほしいと思います。

8月17日、笑顔で子どもたちに会うことを楽しみにしています。

8月の行事予定

	22日(月)	教育実習開始(～9/16) 読み聞かせ(1・2年生)
10日(水)～15日(月) 学校閉庁日	23日(火)	ルピナス中学校授業体験
17日(水) 5時間日課 2学期始業式	24日(水)	午前授業→通常日課に変更
PTA・青少年健全育成交通指導	25日(木)	芸術鑑賞会
20日(土) 上南P研究大会(オンライン)	26日(金)	クラブ 栄養指導(1年)

いじめ防止委員会

6月に第1回「いじめの把握のためのアンケート調査」を実施しました。回答内容について担任が児童から直接の聞き取りを行いました。その後、校内いじめ防止委員会で検討した結果、いじめとして認知する事案はありませんでした。ですが、これで終わりとはせず、校内で共有し引き続き様子を見守っていくことを確認しています。保護者や地域の皆様も何かお気づきの点がありましたら、学校までご連絡いただくと助かります。

牧場体験（4年）



7月5日（火）、4年生の総合的な学習「美瑛町のらく農について知ろう」で、浦牧場へ行き体験学習をしてきました。子牛のミルクやり、牛舎の仕事体験、搾乳体験をさせていただきました。ロボット搾乳の様子も見せていただきました。どれも貴重な体験で、最後に「また見学に行きたい」という声があり、充実した学習の機会となったことがうかがわれました。

陶芸教室（5年）

7月13日（水）、5年生は、白金にある皆空窯へ行き、南正剛・泉両先生に指導をいただきながら焼き物作りを体験してきました。今回は、湯飲みや皿ではなく、自分で設計したオブジェ作りに挑戦しました。

夢中になって、事前に丸めた新聞紙に粘土を貼り付け、形になっていく様子を楽しんでいました。



SNS安全教室（4～6年）



7月7日（木）、4～6年生を対象に SNS 安全教室を実施しました。今回は、様々な事件に遭遇してきた警察署職員の方から実例を交えながら、SNSの危険性や自分を守る方法について具体的に教えていただきました。

世の中の流れは情報機器が生活必需品となってきています。便利で身近な反面、大人でさえもタッチ一つで想像もしない大変なことに巻き込まれることもあります。子どもたちを守るためにも、我々大人も日々進化する情報化の流れに伴う危険性について理解していきたいものです。